



平成27年 第9回
入舟小学校区 コミュニティ協議会

コミ協の活動状況

総務部会 野村慶子

- ①5.25 第12回お互いさまランチ(参加85名)
- ②6.1 入舟コミ協 第6回総会(出席60名)
日赤入舟分団総会、入舟地区社会福祉協議会
総会、入舟校区防犯協会総会、入舟校区交通安全
推進協議会総会、入舟校区自主防災会総会、を
同日に開催
- ③6.7 春期合同安全パトロール
- ④7.20 第13回お互いさまランチ(参加91名)
- ⑤6.29 自主防災会第10回防災訓練(参加85名)
- ⑥7.6 海岸一斉清掃
- ⑦7.27 ピーチライフ・イン新潟

- ⑧8.31 入舟コミ協だより(第14号)発刊
- ⑨9.2 コミ協懇談会
- ⑩9.20 夏期合同安全パトロール
- ⑪9.21 第14回お互いさまランチ/敬老会(参加131名)
- ⑫9.28 ふれあいウォーキング(参加115名)
- ⑬10.12 市民マラソン
- ⑭10.21 コミ協懇談会参加者(43名)
- ⑮11.12 四コミ協連絡会開催(11名)
- ⑯11.15 第1回跡地検討会(19名)
- ⑰1.25 入舟コミ協協議会新年会(43名)
- ⑱3.8(予) 自主防防災研修会
- ⑲3.15(予) 入舟コミ協だより(第15号)
- ⑳3.28(予) 年度末合同安全パ
トロール

総務部会

「地域活動」に展示したポスター(縮尺のため文字はよめません)

1月29日 地域活動ふれあいの集いで当コミ協が出品したポスターです。

<p>自主防災会</p> <p>平成26年度柳屋中学校地域合同防災訓練 本年度は柳屋中学校生徒連に避難所の受付、災害対策委員の啓蒙、避難品の整理作業、体育館の避難場所の区割りなどを、やっていただきました。</p> <p>避難所の区割りを詳しく 生徒が体験型で避難訓練 避難場所の整理 第2回入舟地区防犯協会総会 入舟小学校教員と中川先生に学校の施設設備を受け、(防犯委員会)からこの位置はどの様に利用が できるのかを教えてください、後に委員会で話し合い決定方針を決定しました。</p>	<p>福祉・文教部</p> <p>敬老会 「第2回敬老会」(26.9.21) 入舟小学校にて開催。146 名余の参加の方々には世間平賀東志郎さんによる 講話、マッキー風間さんによるマジックを賞し んで頂き、その後お楽しみ会による「盛りだめや 平賀風」のピアノを上演、ランチルームでの懇 談会では当コミ協の活動の紹介による理解も 提供されました。</p> <p>ふれあいウォーキング 「ふれあいウォーキング」は平成19 年6月より実施しています。第8回は ふれあいウォーキング(26.9.28)で は男女男女138名の参加をいた だきました。</p> <p>しもまち 高齢者の人口が3割を超す中央区の下町。入舟小学校地区では お年寄りを支え、地域の交流と活性化につなげるべく、ワンコ イン(500円)による地域交流センターのショー(音楽、演劇等) が好評。「しもまちお互いさまランチ」を、毎月2ヶ月間に開催 され、26.11.16に第15回の「ランチ」を実施しました。</p> <p>お互いさまランチ 毎週土曜をこらしたラン チメニューを考えていま</p> <p>コミ協メンバーのみなさん</p>	<p>安全環境部会 平成26年度 活動紹介</p> <p>入舟小学校へ寄贈 入舟小児童に 「ふれあいウォーキング」寄贈 防犯功労者表彰 防犯交通安全の啓蒙の市民 感謝状(記念品贈呈) 全国地域安全運動参加 地域貢献にご協力い ただいた所長に感謝 全県内公債展覧 毎月第2月 入舟小児童参加の奉仕 警察・市役所・教 育委員会・学校と 早川通り通りに植えられた 樹木を利用し、七夕の短冊を 飾りました。子どもたちの夢 がたくさん書かれています</p> <p>「つつじ祭り」会場にて 全校児童が交通安全への願いを風 鈴に書き、早川通りに飾りました。</p>
---	---	--

編集後記
今回の入舟「コミ協だより」は、写真を多くし、見や
すい紙面づくりを目標としました。入舟小学校区ミ
ニティ協議会としてお便りを発行するのは、今回が
最後となりますが、今後も各部会の事業報告等、

きめ細やかな編集を心掛けていきたいと思っておりますので、
ご講読よろしくお祈いします。

編集委員;鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、
野村慶子、明間博隆、古寺昭治、小島良子、
野内隆裕、杉山節子

入舟 コミ協だより



日和山小・校歌歌い合わせの会

にいがた市感謝大賞贈呈式

入舟小・地域コーディネーター 小島良子

平成27年2月10日(火)豊照小・湊小・栄小・入舟小
児童380名余りが一同に集まり、平成27年4月に開
校する「日和山小学校校歌」の歌い合わせの会が開
催されました。

日和山小学校の校歌を作詞作曲して下さった小
林幸子さんが入舟小学校に来校し、子どもたちと一
緒にきれいな歌声を披露してくださいました。校歌に

は「ふね入るみなと 豊かに栄…」という歌詞が
入っていて、4つの小学校が一つになったことを表
しています。

入舟小の子どもたちは、先生方のご指導のもと
1月から校歌の練習を始め、豊照・湊・栄の子ども
たちと気持ちを一つにし、2月10日本番では、明
るく元気に、大きな声で歌ってくれました。

またその場にて、篠田昭新潟市長より、小林幸
子さんへ「にいがた市感謝大賞」贈呈式が行われ
ました。

4月から日和山小学校になります。入舟小学
校区コミュニティ協議会に皆さまから変わらぬご支
援をいただけますよう、お願い申し上げます。



日和山小学校 校歌
作詩・作曲 小林幸子

うれしいときも かなしいときも
心を映す 日本海
希望を胸に 手を取り合える
友達にありがとう
みんなに幸せ スマイルで
元気あふれる 日和山

二きらめく雪と かがやく夕陽
心をつなぐ 信濃川
優しい勇気 教えてくれる
ふるさとにありがとう
なかよく幸せ スマイルで
あいさついっぱい 日和山

三 ふね入るみなと 豊かに栄え
われらが通う あの小道
夢に向かって 歩んでいこう
心からありがとう
未来に幸せ スマイルで
みんなの学び舎 日和山

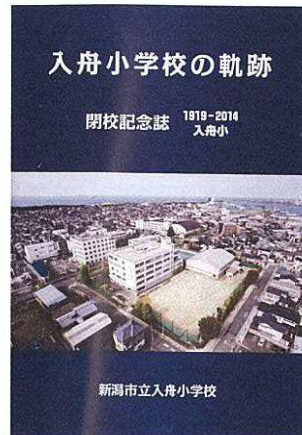


入舟小・閉校式典

入舟小・地域コーディネーター 小島良子

平成26年11月22日(土)入舟小学校閉校式典には、来賓をはじめ、地域・卒業生・元職員など大変多くの方が参列され、盛大に行われました。

式典第一部は、市長やご来賓の皆さまからご挨拶が粛々と進み、第二部は入舟小学校96年の思い出を来場された皆さまに伝えました。児童の劇では、過去にタイムスリップし、初代入舟小学校



入舟小

校舎と出会い、DVDを交えながら入舟小学校の歴史を伝えました。続いて、学年ごとの言葉では、5年生が日和山で「最高学年になる決意」を発表しました。

児童全員と地域・職員・保護者・卒業生の言葉、映像を流しながらの歌。笑いあり、涙あり、たくさんの感動が詰まった式典になりました。今まで入舟小を、そして入舟の子どもたちを支え、応援して下さった、地域や保護者、職員、そして卒業生の皆さまに感謝いたします。



区長ミーティング

コミ協副会長 鈴木 喬

(1)日時;15.2.8(日)15:00~17:00

(2)会場;北部総合コミュニティセンター

(3)出席者;43名

来賓;高橋健造中央区長、(地域課)長浜達也課長、関智雄地課長補佐、笠井綾子係長

(4)区長ミーティング;区長の区政概要に続き

①跡地利活用関連、②BRT関連 についての質疑応答があった。(一部を以下に抜粋)

(5)跡地利利用の考え方(区長)

*豊照校は暫定期間の要望であり、湊校は桜を残す要望である。入舟校は少々期間がある。これをコミセン跡地とどう組み合わせるか。

*基本的には市全体の身のたけで考えなければならない。運営は市の税金でまかなうので例外はない。

*万代地区の例のように、地域に影響を及ぼすどのような機能が必要かだ。入舟地区は万代地区よりコンパクト、しかしそれなりの大きさである。

(6)利用計画(Q/A);市の基本的な計画は?

*A;使い道について決めていない。コミセン跡地について、検討プロセスが望ましい。大切な事は入舟地区は学校の統合で子供達を第一に考え、これほどのスピード感で英断したことは重要なことで、斟酌する必要あり。

(7)跡地利利用の考え方2(区長)、要望(案)はイメージを描き、将来の町が出来上がっている。手順をどうするかであり、意思決定の段階が必要。公共の場合、他と比べてバランスが必要。言外で言ってることは、そうじゃない方法でもっと踏み込んだ機能にたどり着くことが出来れば、全国でなるほどなと言われる再開発となる。

総務部会

おたがいさまランチ

福祉・文教部会 星 尚子

ワンコイン500円で、ショーを観て昼食を食べる”お互いさまランチ”もH24年11月のオープンから16回を重ねました。

既製のお弁当から始まり、冬場だったのでせめて温かい汁物をと豚汁を作り、次はせめてご飯だけでも温かくとご飯を炊き・・・するとボランティアさんからカレーくらいなら作れる・・・卵焼きや天ぷらだって作れると主婦のパワーが炸裂!

今や手作りのお食事が大好評(?)のようです。予算に制約はあるものの献立は、季節感のあるもの、盛りつけた時の見た目、バランス、そして参加者さまの



胃袋にあうボリュームを心掛けています。

食後のプチおやつで、ゆっくりお茶飲みしてくださいね!開催当日の調理室はごった返していますが、私共の願いは一つ「美味しい!!」と喜んで頂ける食事を作ること。大勢で食べる食事は会話も弾み心も体も温かくなりますね。皆様のご参加をお待ちしています。



福祉・文教部会



まち探訪

『花燃ゆ』吉田松陰と新潟の町

総務部会 野内隆裕

平成27年度のNHKの大河ドラマ『花燃ゆ』は吉田松陰の妹・文が主人公ですね。明治維新の精神的指導者・理論者、吉田松陰は嘉永四年(1851)12月14日から翌五年(1852)4月5日までの東北遊歴の旅の

中で新潟の町にも訪れています。

2月11日に風間小路(本町通十番町)医家、中川立庵を訪ねました。その際、立庵の人となりを感じ送った詩が、白山神社(一番堀通)に建てられております。また松陰は立庵親子と共に、日和山(東堀通



十三番町)にも上り、海岸にて佐渡をながめました。その時の詩も残っております。

佐渡は雲霧渺茫(うんむびょうぼう)として正面に峙(そばだ)ち海風剪(き)るがごとく久しく留まるべからざるなり

今は海が眺められなくなった日和山(12.3m)ですが、そんな風景を想像しても楽しいかもしれません。

